



2020年3月期 決算説明資料

株式会社ユー・エス・エス
2020年5月

2020年3月期連結業績の概要

■ 2020年3月期連結業績

- 売上高：前期比97%、計画比98% / 営業利益：前期比97%、計画比97%

■ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響

- 会員および従業員に対する感染予防策を徹底し、事業継続を図る。
- 3月以降、出品・成約台数の減少が続く。

【2020年4月 月次実績】※成約率の低下により再出品率が上昇

出品台数/前年比96%、成約台数/前年比76%、成約率46.9%(前年実績59.2%)

■ 株式会社ジェイ・エー・エーののれん減損損失を38.6億円計上

- 消費税増税による自動車流通の鈍化に加え、新型コロナウイルスの感染拡大による急激な景気悪化により事業計画を保守的に見直し。

■ 株主還元について

- 1株当たり配当金：20.3期/55.4円(計画通り) ※20期連続増配
- 20.3期より連結配当性向を55%以上に引き上げ

■ 2021年3月期の業績予想は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、現時点での合理的な算出が困難なため未定。

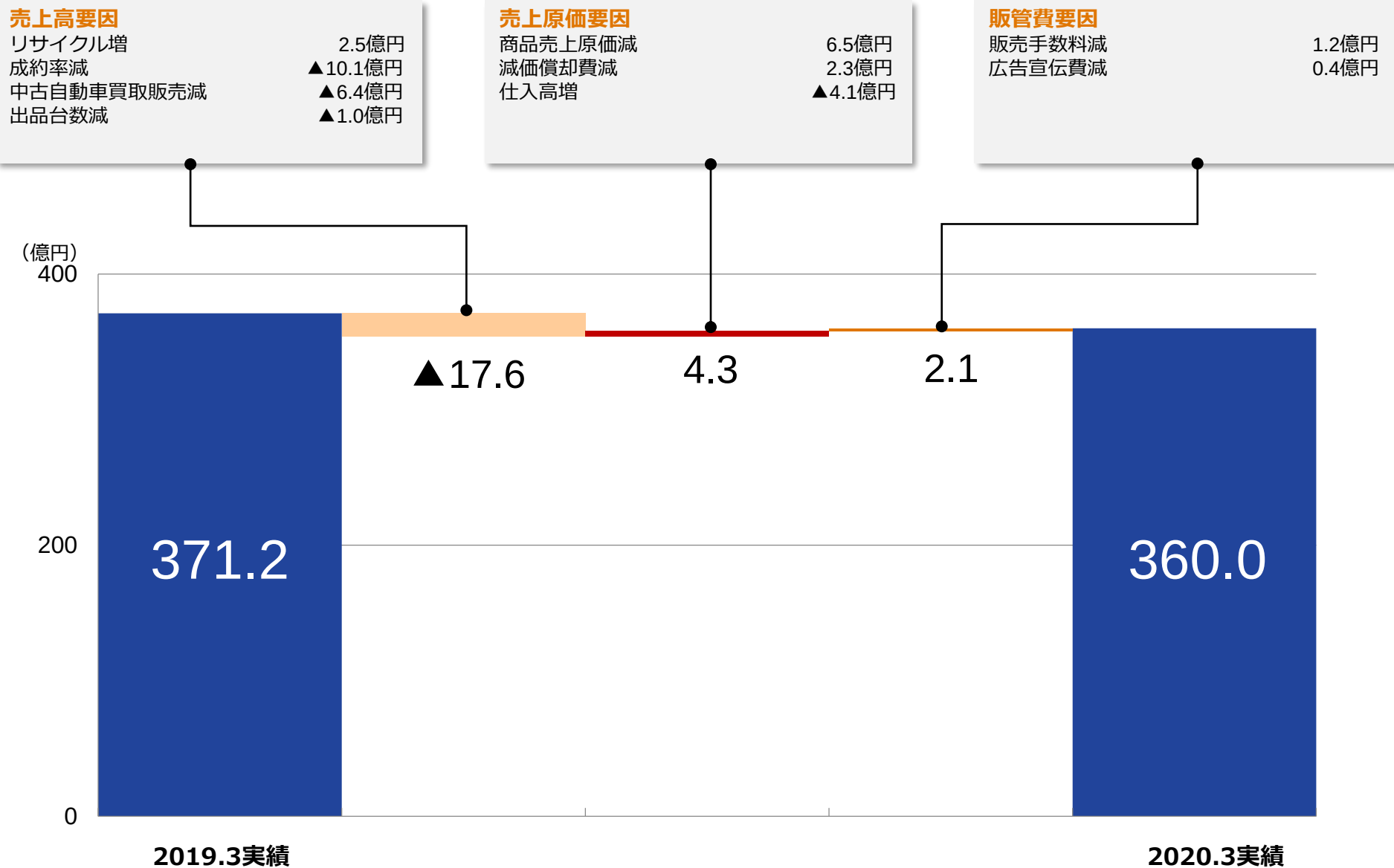
■売上高781.4億円（前期比2.2%減）、営業利益360.0億円（前期比3.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益206.3億円（前期比19.2%減）。

■ J A A ののれん減損損失38.6億円を計上。

（単位：百万円）

	2019.3	2020.3	前期比	計画 (2019年11月11日時点)	計画比
売上高	79,908	78,143	97.8%	79,700	98.0%
売上原価 (売上比)	31,391 (39.3%)	30,954 (39.6%)	98.6%	31,439 (39.4%)	98.5%
売上総利益 (売上比)	48,516 (60.7%)	47,188 (60.4%)	97.3%	48,260 (60.6%)	97.8%
販売費及び一般管理費 (売上比)	11,393 (14.3%)	11,179 (14.3%)	98.1%	11,260 (14.1%)	99.3%
営業利益 (売上比)	37,123 (46.5%)	36,009 (46.1%)	97.0%	37,000 (46.4%)	97.3%
経常利益 (売上比)	38,039 (47.6%)	36,710 (47.0%)	96.5%	37,600 (47.2%)	97.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (売上比)	25,543 (32.0%)	20,634 (26.4%)	80.8%	25,100 (31.5%)	82.2%

2020年 3 月期 営業利益増減分析（実績）



(単位：百万円)

売上高	2018.3	2019.3	2020.3	前期比
オートオークション	59,521	64,684	63,350	97.9%
中古自動車等買取販売	9,827	9,701	9,099	93.8%
その他	5,805	5,522	5,692	103.1%
合計	75,153	79,908	78,143	97.8%
営業利益（営業利益率）	2018.3	2019.3	2020.3	前期比
オートオークション	35,131 (58.5%)	36,323 (55.8%)	35,436 (55.6%)	97.6%
中古自動車等買取販売	171 (1.7%)	116 (1.2%)	103 (1.1%)	88.7%
その他	665 (11.4%)	583 (10.5%)	369 (6.4%)	63.3%
消去または全社	103	99	100	100.8%
合計	36,071 (48.0%)	37,123 (46.5%)	36,009 (46.1%)	97.0%

※売上高は外部顧客に対するもの、営業利益はセグメント利益を表し、営業利益率は「セグメント利益÷セグメント売上」で算出しております。

- 投資活動によるキャッシュ・フローはJAA会場の新築建替などにより支出が増加。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは配当金の支払い、自己株式の取得。
- 自己資本比率は83.0%。

連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

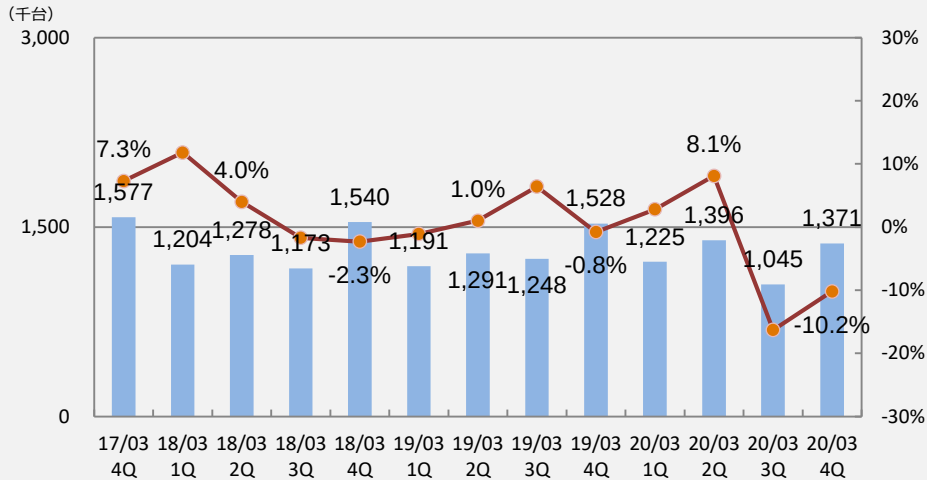
	2019.3	2020.3		2019.3	2020.3
流動資産	77,431	68,096	流動負債	38,077	24,497
現金及び預金	51,352	50,729	オークション借勘定	22,209	8,721
オークション貸勘定・他	26,078	17,367	その他	15,867	15,776
固定資産	155,271	151,037	固定負債	11,090	10,656
有形固定資産	104,887	106,747	負債合計	49,168	35,153
その他	50,384	44,289	純資産合計	183,535	183,980
資産合計	232,703	219,133	負債・純資産合計	232,703	219,133

連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

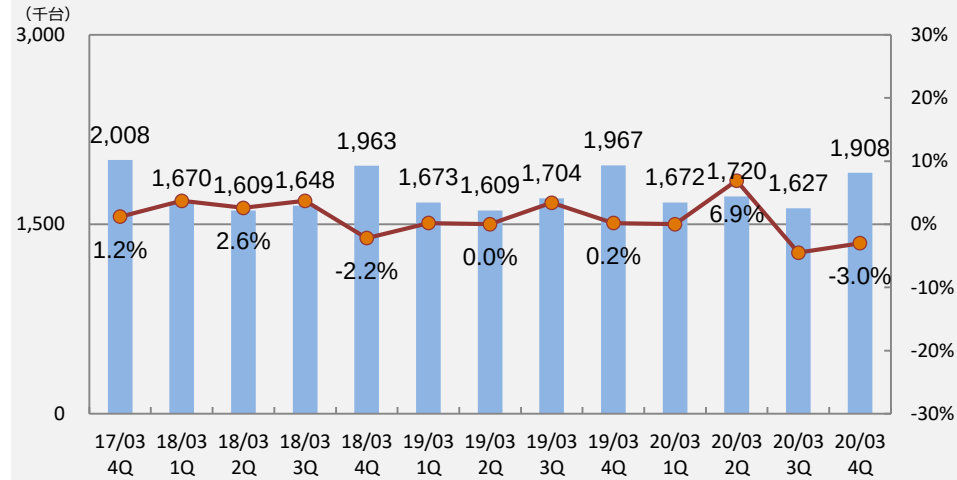
（単位：百万円）

	2018.3	2019.3	2020.3	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	32,505	32,894	27,245	▲5,648
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲34,498	▲1,496	▲4,906	▲3,409
フリーキャッシュ・フロー	▲1,993	31,398	22,339	▲9,058
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲12,162	▲19,668	▲16,963	2,705
設備投資（支出ベース）	4,447	2,428	4,523	2,095
減価償却費	4,983	5,299	5,037	▲262

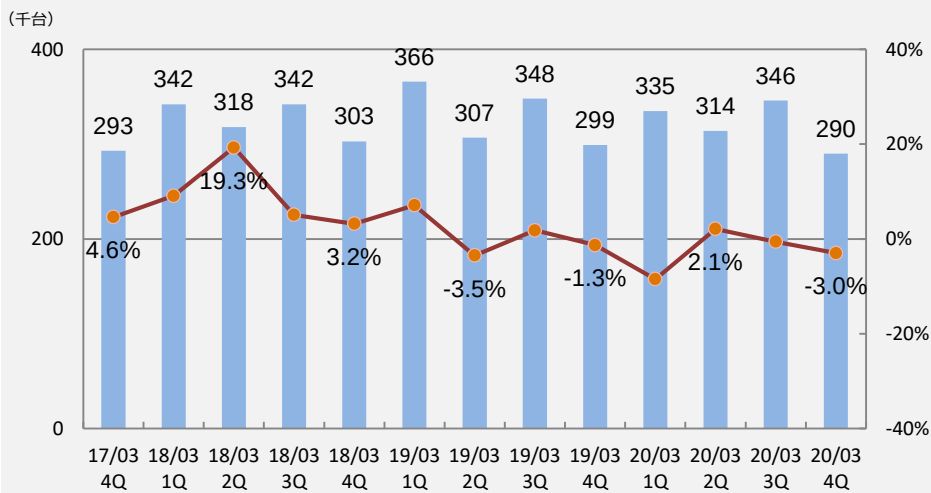
新車登録台数と前年同期比



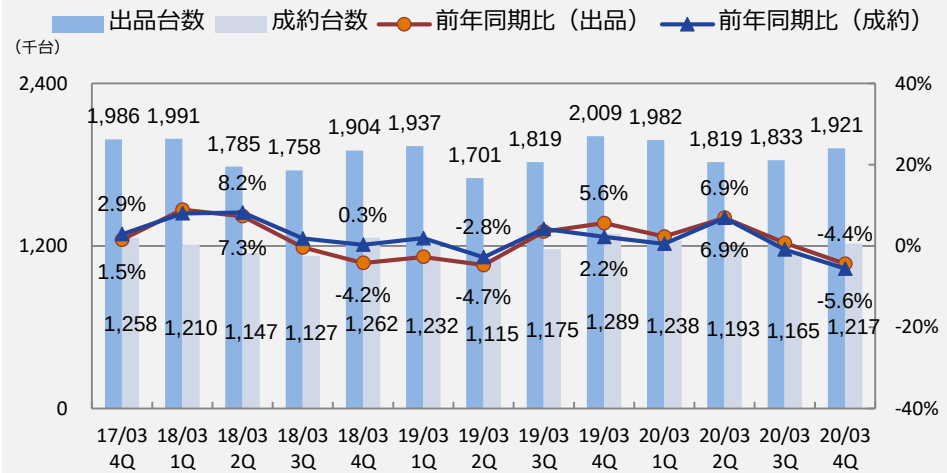
中古車登録台数と前年同期比



中古車輸出台数と前年同期比



AA市場 出品・成約台数と前年同期比



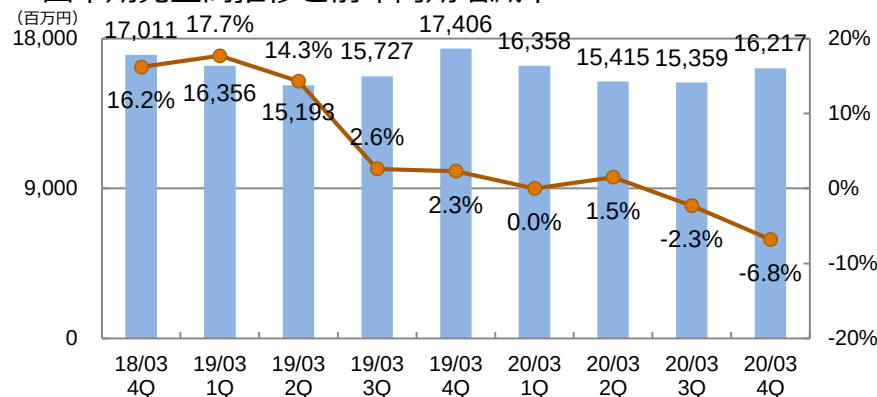
- 出品台数は292.4万台（前期比0.2%減）、成約台数は177.2万台（前期比2.9%減）、成約率は60.6%（前期実績62.3%）。
- 取扱台数の減少と成約率の低下などによりオークション手数料が減少。

オートオークションのセグメント3月期業績（累計）

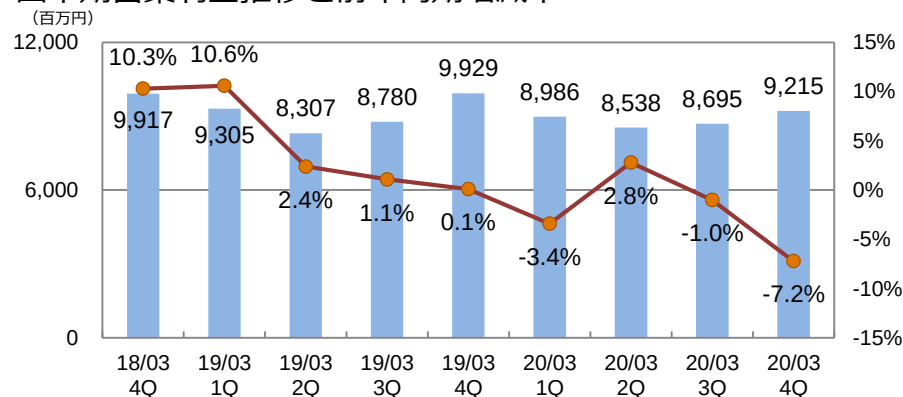
（単位：百万円）

	2018.3	2019.3	2020.3	前期比
売上高	59,521	64,684	63,350	97.9%
出品手数料	14,153	15,269	15,047	98.5%
成約手数料	13,858	14,898	14,499	97.3%
落札手数料	20,192	22,313	21,758	97.5%
その他	11,317	12,203	12,044	98.7%
営業利益	35,131	36,323	35,436	97.6%
営業利益率	58.5%	55.8%	55.6%	-

四半期売上高推移と前年同期増減率

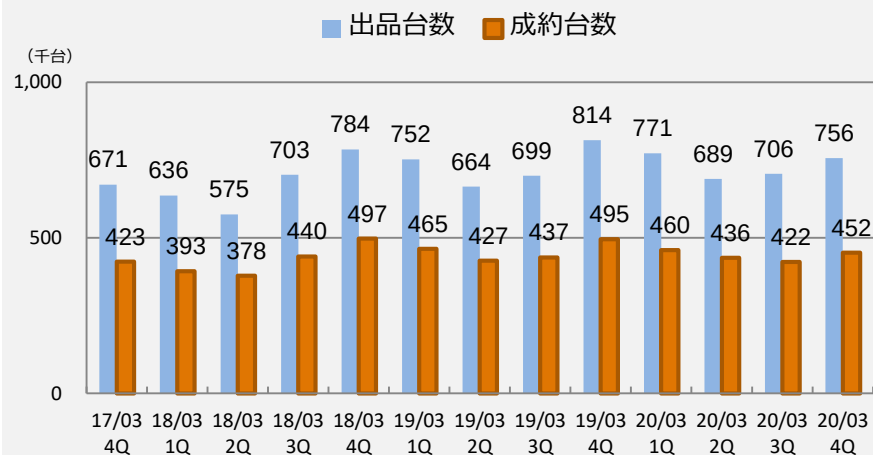


四半期営業利益推移と前年同期増減率

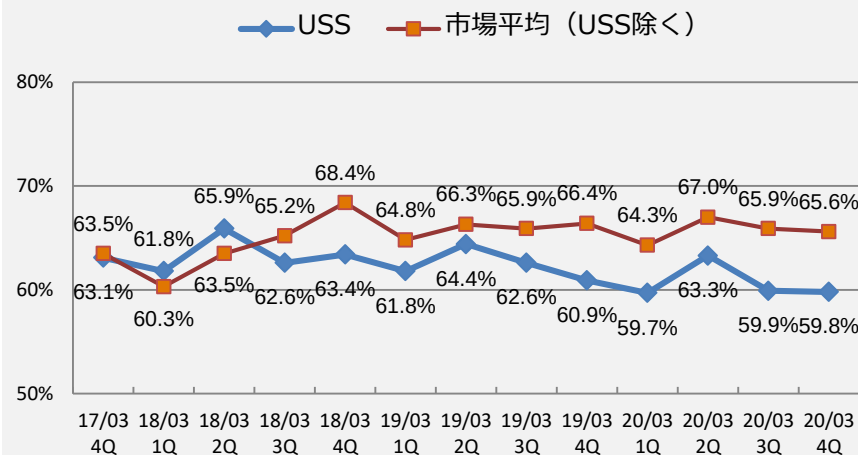


※売上高は外部顧客に対するもの、営業利益はセグメント利益を表し、営業利益率は「セグメント利益÷セグメント売上」で算出しております。

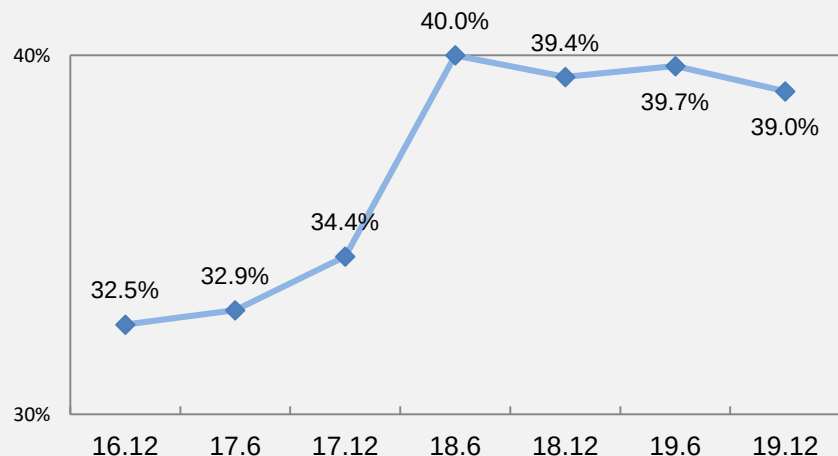
出品・成約台数の推移



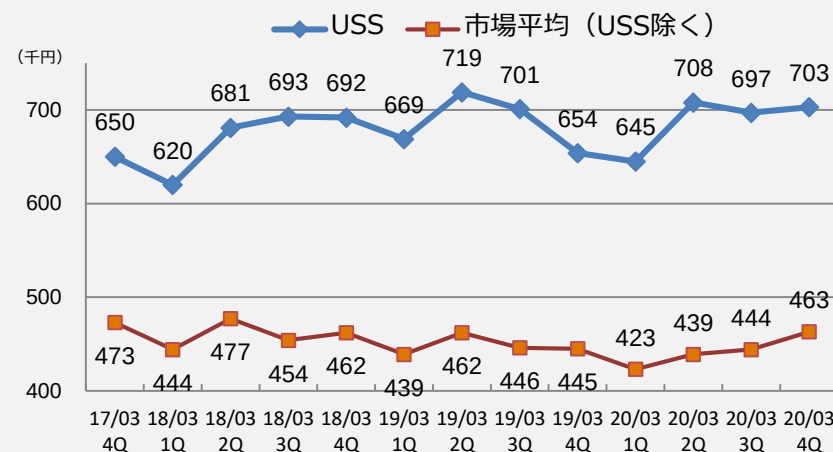
成約率の競合比較



出品台数市場シェアの推移

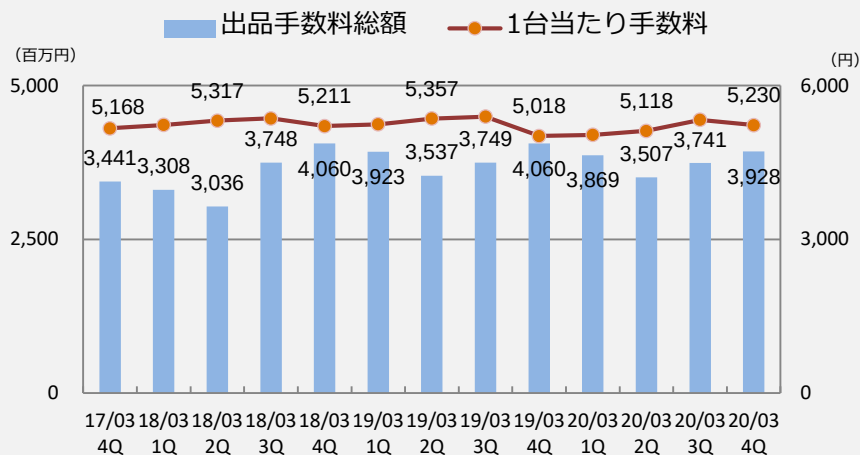


1台当たり成約車両金額の競合比較

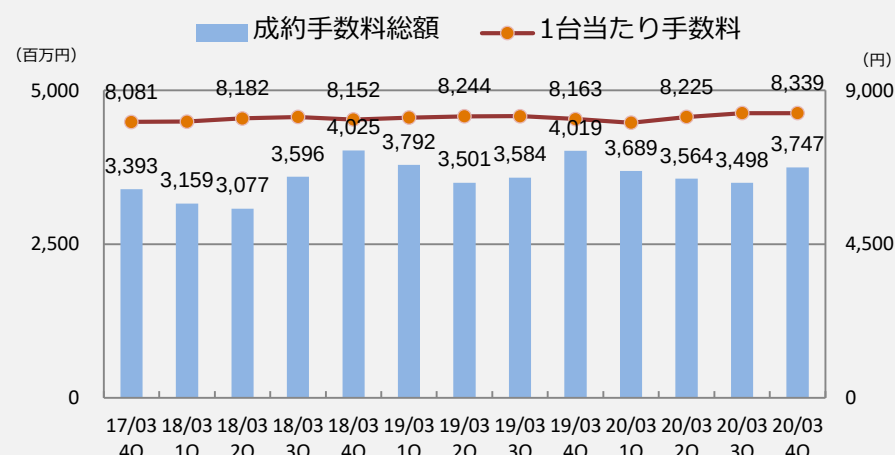


※12月期は暦年の、6月期は半年の数字を記載しております。
 ※2017年10月よりJAA、HAA神戸の実績を含めております。
 ※JBAの実績は含めておりません。

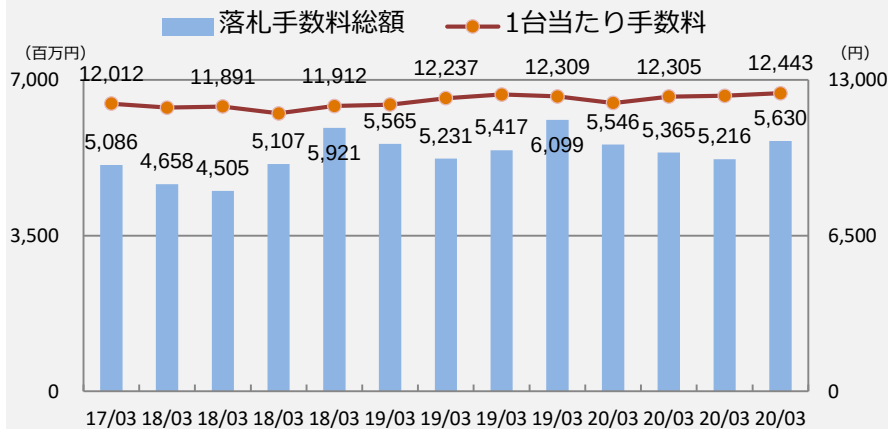
出品手数料総額と1台当たり手数料



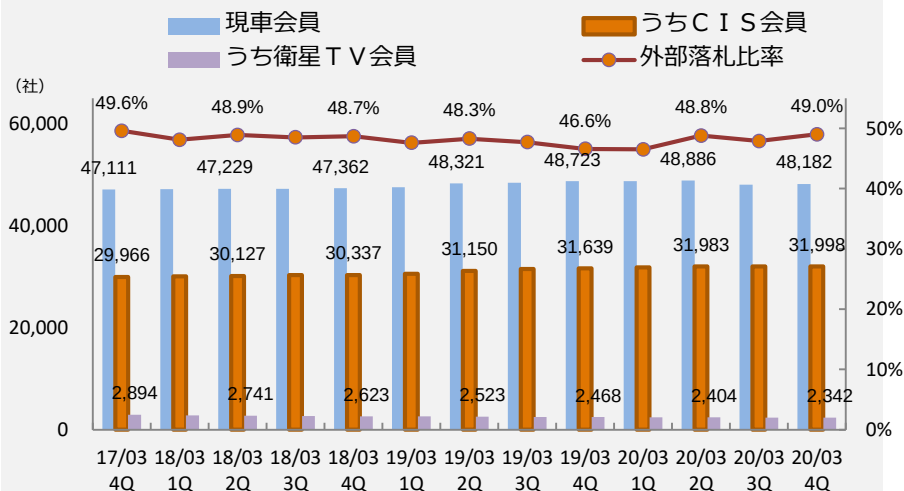
成約手数料総額と1台当たり手数料



落札手数料総額と1台当たり手数料



会員数と外部落札比率



※ 1台当たり手数料は、連結相殺前の数値をもちに算出しております。
 ※ 2017年10月よりJAA、HAA神戸の実績を含めております。
 ※ JBAの実績は含めておりません。

※ 2019年4月より外部落札比率の計算方法を見直しております。

オートオークションのセグメント④

2019年4月から2020年3月までの12か月間

(単位：回、台)

	開催数		出品台数			成約台数			成約率	
	2020.3	2019.3	2020.3	2019.3	前期比	2020.3	2019.3	前期比	2020.3	2019.3
東京	49	49	662,972	658,344	100.7%	441,547	454,142	97.2%	66.6%	69.0%
名古屋	49	49	501,171	498,213	100.6%	263,145	273,082	96.4%	52.5%	54.8%
大阪	49	49	211,353	177,167	119.3%	109,542	97,655	112.2%	51.8%	55.1%
横浜	50	49	198,179	184,752	107.3%	122,944	120,197	102.3%	62.0%	65.1%
九州	48	49	192,538	181,153	106.3%	110,511	109,144	101.3%	57.4%	60.2%
R-名古屋	50	49	144,196	143,056	100.8%	117,353	120,027	97.8%	81.4%	83.9%
札幌	49	49	140,841	148,218	95.0%	90,757	97,557	93.0%	64.4%	65.8%
静岡	48	49	94,433	89,485	105.5%	61,257	59,943	102.2%	64.9%	67.0%
神戸	49	49	82,643	84,203	98.1%	48,193	48,773	98.8%	58.3%	57.9%
岡山	48	49	73,453	76,131	96.5%	48,494	51,401	94.3%	66.0%	67.5%
群馬	48	49	57,395	57,520	99.8%	37,586	38,838	96.8%	65.5%	67.5%
東北	49	49	56,703	62,537	90.7%	40,320	45,616	88.4%	71.1%	72.9%
埼玉	49	49	49,888	49,518	100.7%	29,301	29,232	100.2%	58.7%	59.0%
福岡	49	49	47,355	42,234	112.1%	30,352	26,670	113.8%	64.1%	63.1%
新潟	49	49	42,908	43,358	99.0%	21,200	19,687	107.7%	49.4%	45.4%
北陸	48	49	18,060	16,505	109.4%	12,308	10,488	117.4%	68.2%	63.5%
JAA	49	49	82,008	108,980	75.3%	44,811	65,359	68.6%	54.6%	60.0%
HAA神戸	48	48	267,956	308,753	86.8%	142,822	158,180	90.3%	53.3%	51.2%
合計	878	881	2,924,052	2,930,127	99.8%	1,772,443	1,825,991	97.1%	60.6%	62.3%

※四国会場の実績は2019年12月までは岡山会場、2020年1月以降はHAA神戸会場に含めております。

※JBAの実績は含めておりません。

オートオークションのセグメント⑤

(単位：台、%)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	年度
出品台数	2017年度	234,454	183,593	218,888	195,997	169,623	209,872	1,212,427	238,322	250,552	214,426	201,672	244,650	337,961	1,487,583	2,700,010
	増減率	0.5	11.0	12.1	4.9	20.1	4.3	7.9	27.8	26.8	22.5	16.8	17.0	16.7	20.9	14.7
	2018年度	266,046	232,114	254,075	224,212	206,245	234,019	1,416,711	234,741	257,451	207,046	224,051	262,464	327,663	1,513,416	2,930,127
	増減率	13.5	26.4	16.1	14.4	21.6	11.5	16.8	▲1.5	2.8	▲3.4	11.1	7.3	▲3.0	1.7	8.5
	2019年度	265,360	248,623	257,709	249,936	210,323	229,142	1,461,093	252,790	257,226	196,407	211,406	251,864	293,266	1,462,959	2,924,052
	増減率	▲0.3	7.1	1.4	11.5	2.0	▲2.1	3.1	7.7	▲0.1	▲5.1	▲5.6	▲4.0	▲10.5	▲3.3	▲0.2
成約台数	2017年度	138,362	116,398	138,964	127,444	112,434	139,118	772,720	152,222	157,094	130,815	129,500	157,319	210,328	937,278	1,709,998
	増減率	▲1.5	6.7	8.7	3.6	20.4	4.5	6.3	25.5	23.8	18.5	17.7	16.0	18.2	19.9	13.3
	2018年度	159,017	147,501	158,657	143,599	131,988	152,066	892,828	152,009	161,603	123,834	136,324	161,389	198,004	933,163	1,825,991
	増減率	14.9	26.7	14.2	12.7	17.4	9.3	15.5	▲0.1	2.9	▲5.3	5.3	2.6	▲5.9	▲0.4	6.8
	2019年度	156,986	150,529	153,217	153,889	131,750	150,541	896,912	156,496	151,044	115,291	130,627	158,104	163,969	875,531	1,772,443
	増減率	▲1.3	2.1	▲3.4	7.2	▲0.2	▲1.0	0.5	3.0	▲6.5	▲6.9	▲4.2	▲2.0	▲17.2	▲6.2	▲2.9
成約率	2017年度	59.0	63.4	63.5	65.0	66.3	66.3	63.7	63.9	62.7	61.0	64.2	64.3	62.2	63.0	63.3
	2018年度	59.8	63.5	62.4	64.0	64.0	65.0	63.0	64.8	62.8	59.8	60.8	61.5	60.4	61.7	62.3
	2019年度	59.2	60.5	59.5	61.6	62.6	65.7	61.4	61.9	58.7	58.7	61.8	62.8	55.9	59.8	60.6

※2017年10月よりJAA、HAA神戸の実績を含めております。

※JBAの実績は含めておりません。

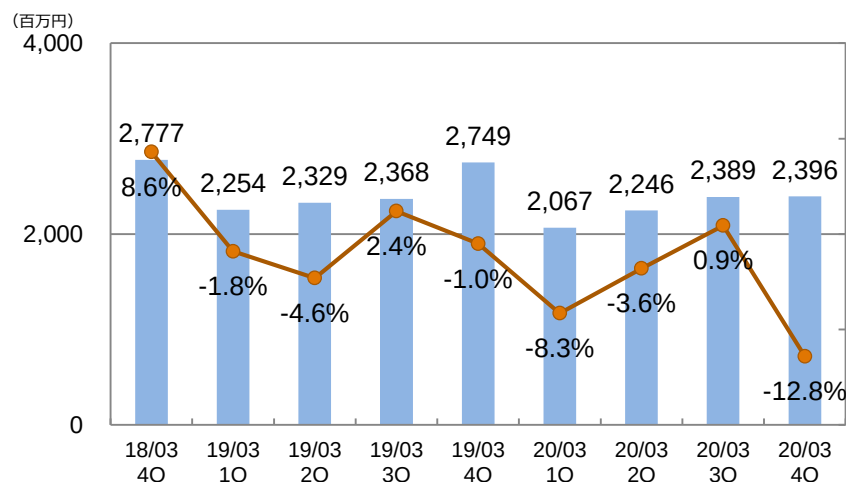
- 中古自動車買取専門店「ラビット」は、台当たり粗利益が増加したものの、販売台数の減少などにより減収減益。(売上高5,059百万円(前期比11.3%減)、営業利益64百万円(前期比0.9%減))
- 事故現状車買取販売事業は、高額車両の販売が増加するも、販売台数の減少や台当たり粗利益の減少などにより増収減益。(売上高4,039百万円(前期比1.0%増)、営業利益38百万円(前期比24.4%減))

中古自動車等買取販売のセグメント3月期業績(累計)

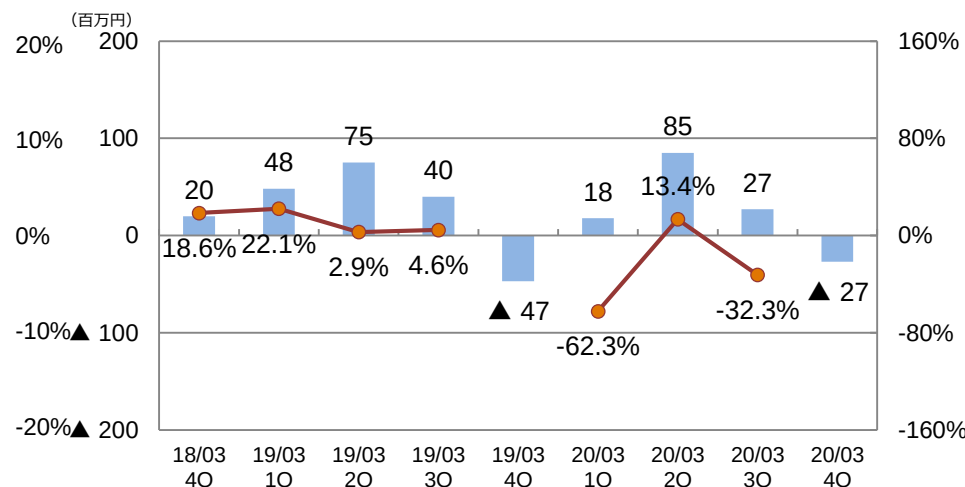
(単位：百万円)

	2018.3	2019.3	2020.3	前期比
売上高	9,827	9,701	9,099	93.8%
営業利益	171	116	103	88.7%
営業利益率	1.7%	1.2%	1.1%	-

四半期売上高推移と前年同期増減率



四半期営業利益推移と前年同期増減率



※売上高は外部顧客に対するもの、営業利益はセグメント利益を表し、営業利益率は「セグメント利益÷セグメント売上」で算出しております。

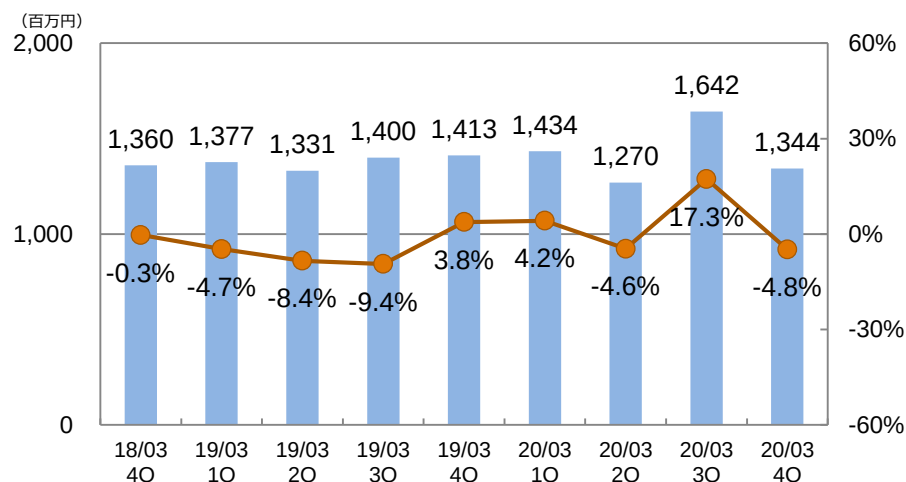
- リサイクル事業は、プラント解体工事の取扱量が増加したものの、4月からの鉄スクラップ相場下落などから増収減益。(売上高5,161百万円(前期比5.1%増)、営業利益309百万円(前期比35.6%減))
- 中古自動車輸出手続代行サービス事業は、受注台数が減少したことから減収減益。(売上高450百万円(前期比13.2%減)、営業利益32百万円(前期比56.8%減))

その他のセグメント3月期業績(累計)

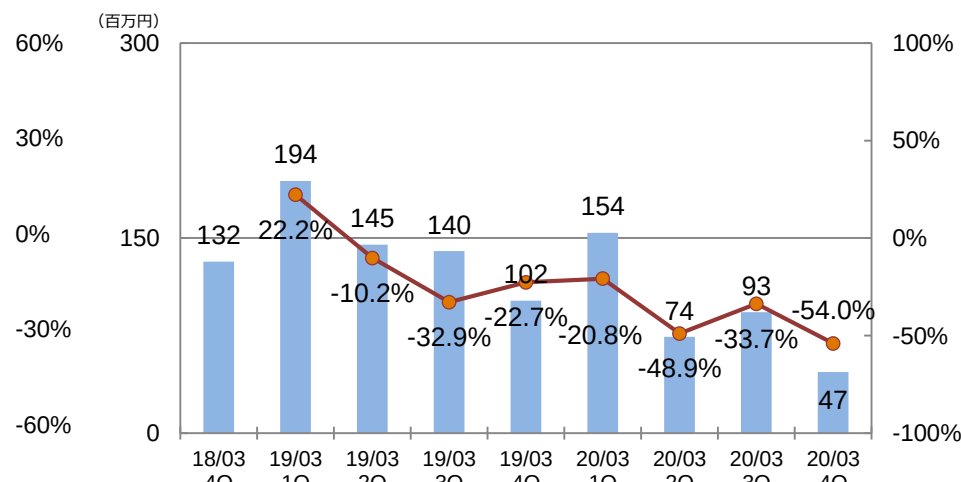
(単位: 百万円)

	2018.3	2019.3	2020.3	前期比
売上高	5,805	5,522	5,692	103.1%
営業利益	665	583	369	63.3%
営業利益率	11.4%	10.5%	6.4%	-

四半期売上高推移と前年同期増減率



四半期営業利益推移と前年同期増減率



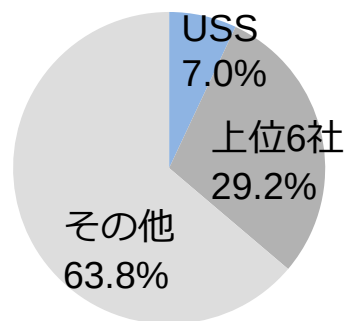
※売上高は外部顧客に対するもの、営業利益はセグメント利益を表し、営業利益率は「セグメント利益÷セグメント売上」で算出しております。

市場環境認識と 中期的な価値創造に向けた戦略

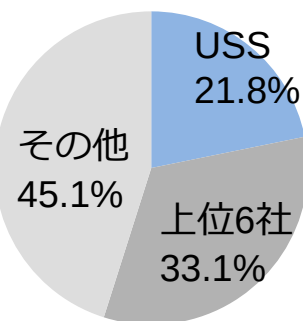
オートオークション市場とUSSのシェア

- 金融危機(2008-2009年)以降、市場が伸び悩む中でも高シェアを維持しながら利益を拡大。
- JAAの子会社化で、市場シェアが大きく上昇。

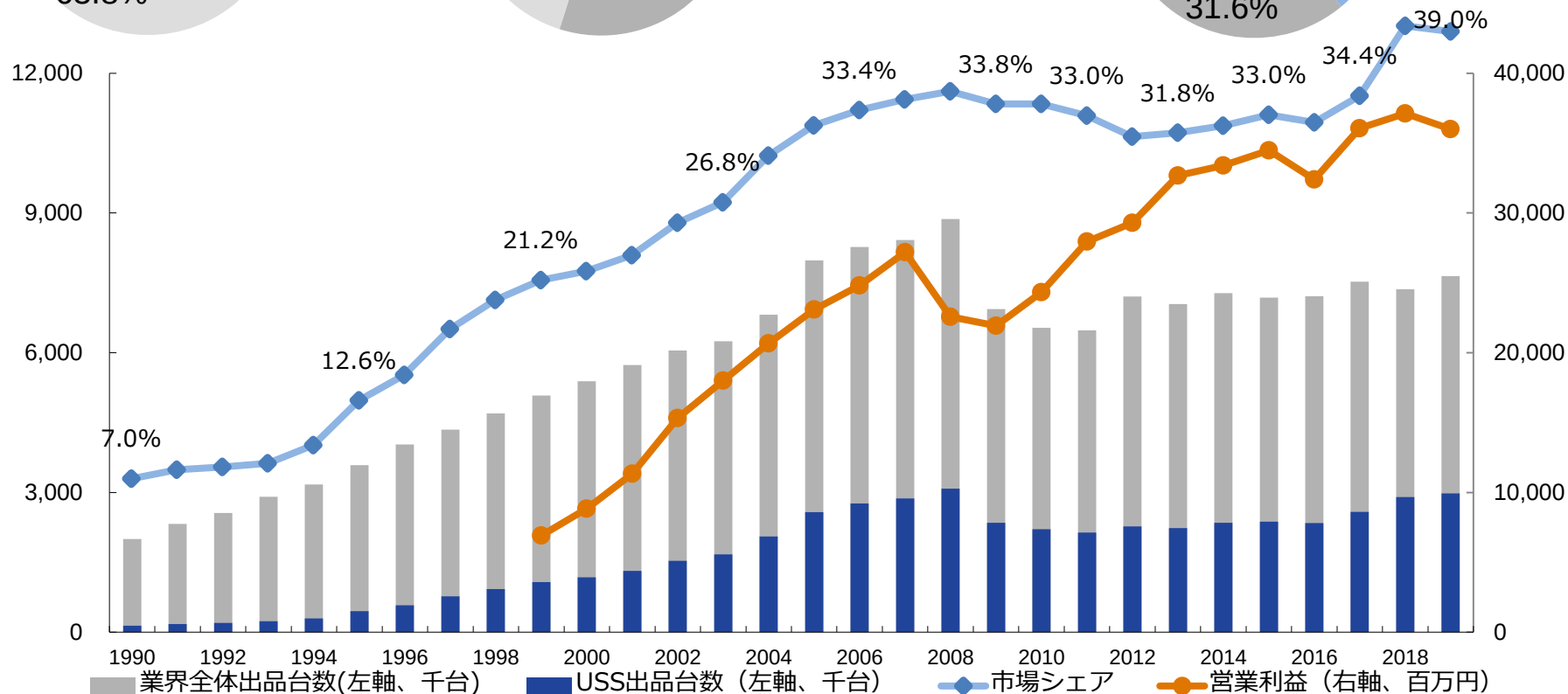
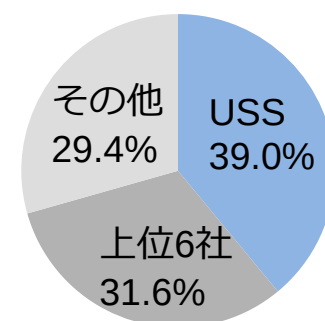
1990年（暦年）市場シェア



2000年（暦年）市場シェア

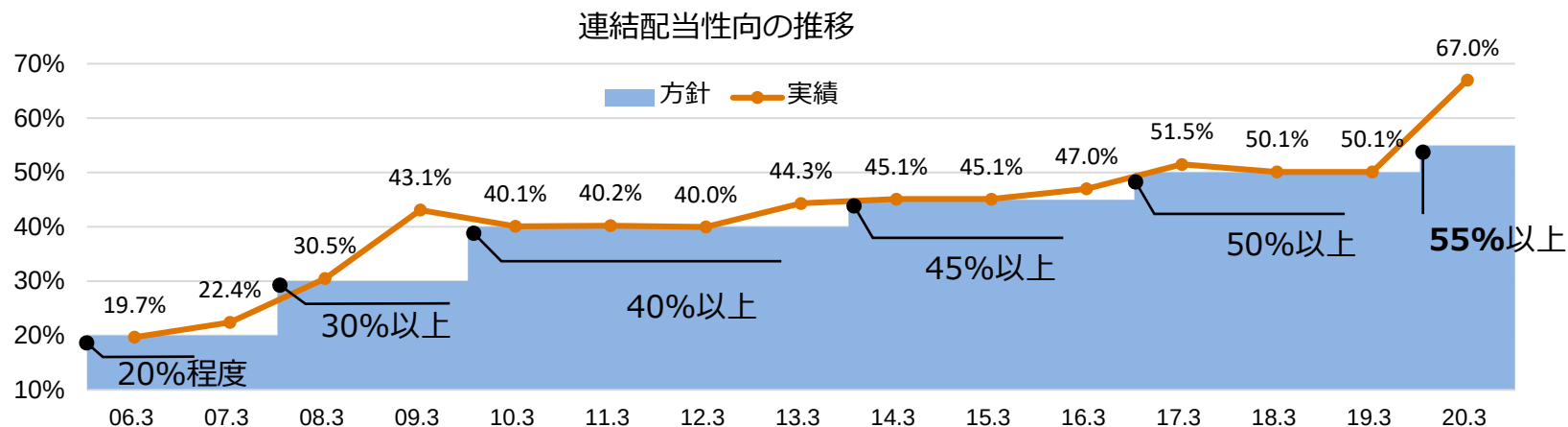


2019年（暦年）市場シェア



成長投資とともに株主還元の充実を継続

■連結配当性向：2020年3月期から**55%以上**に引き上げ。



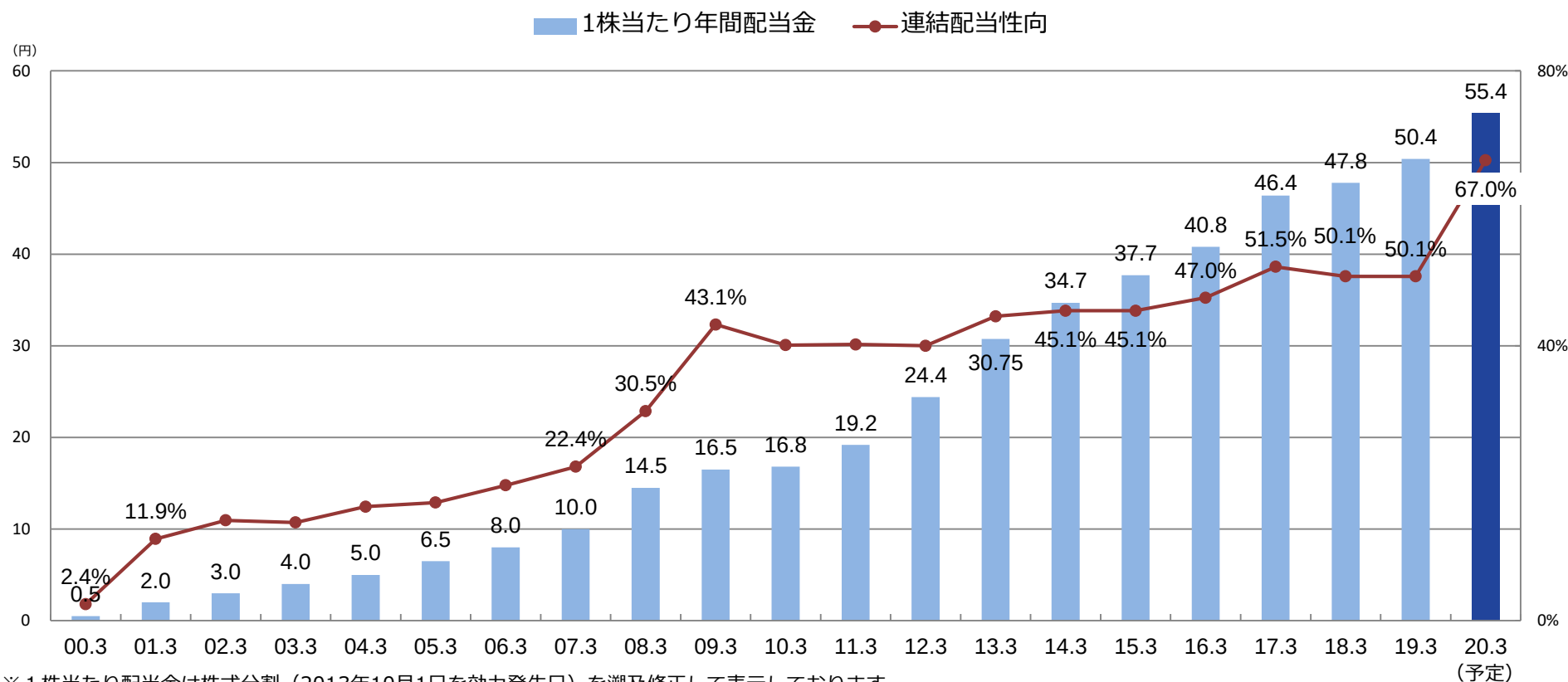
■自己株式取得：キャッシュ・フロー、設備投資計画、市場環境等を考慮のうえ、機動的に実施。

直近の自己株取得状況

4,836,800株/9,999,914,700円（2019年2月13日～8月9日）

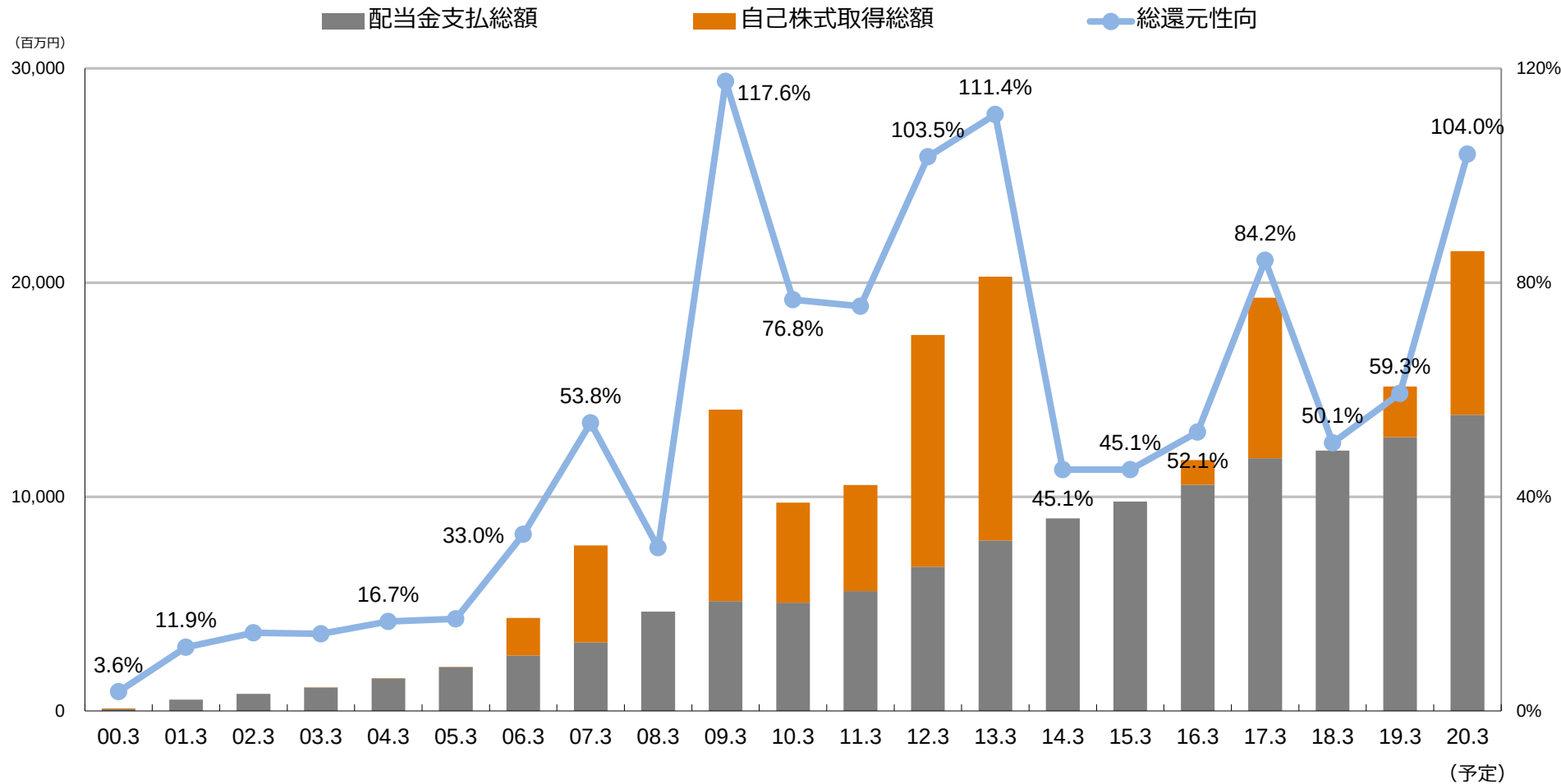
■株主資本利益率（ROE）：中期的に15%以上の水準を目指す。

- 2020年3月期から連結配当性向を50%⇒55%へ引き上げ。
- 2020年3月期の1株当たり年間配当金：**55.4円**（前期比5.0円増）を予定。
- 株式上場以来**20期**連続増配予定。



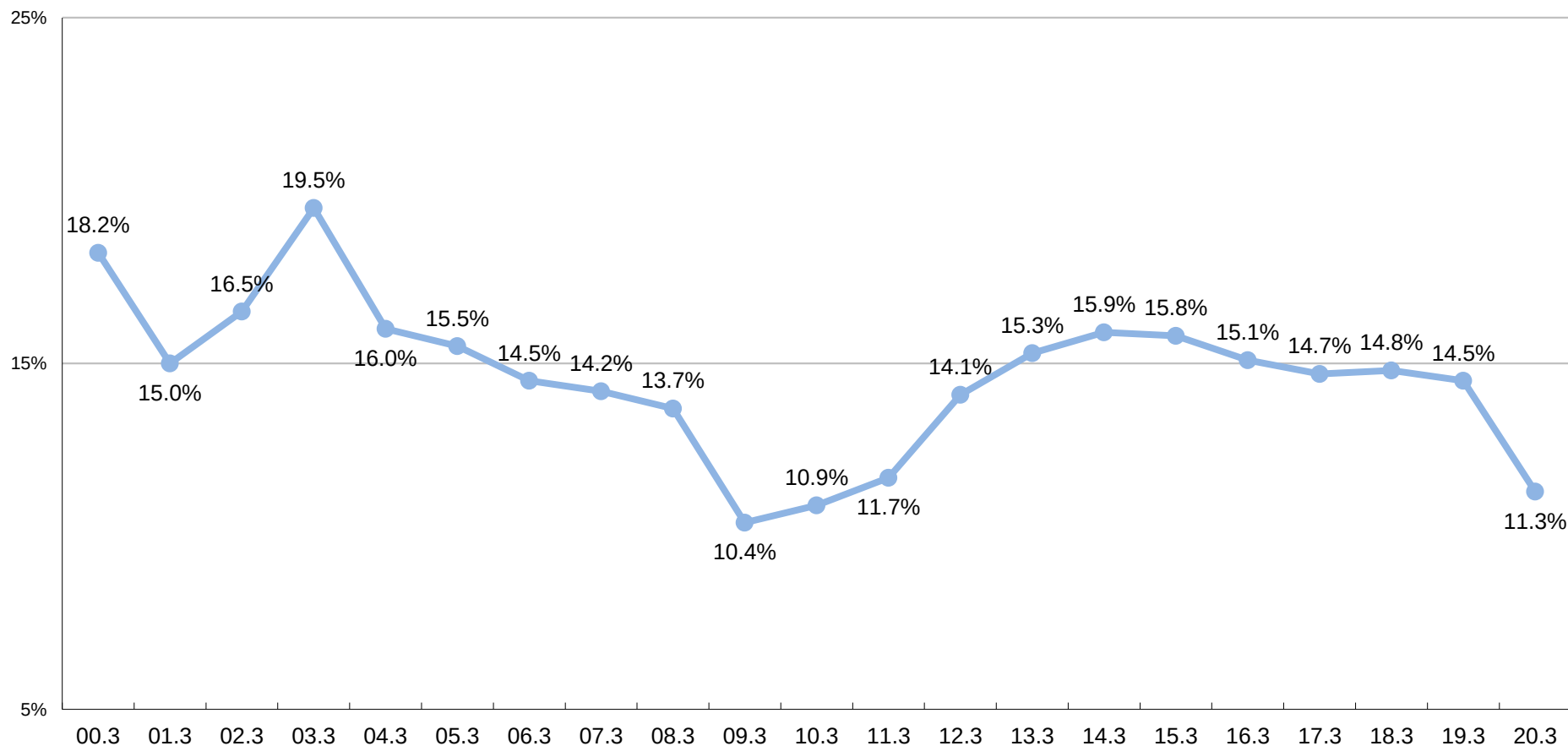
※ 1株当たり配当金は株式分割（2013年10月1日を効力発生日）を遡及修正して表示しております。

■安定的な配当とともに、機動的な自己株式取得を実施。

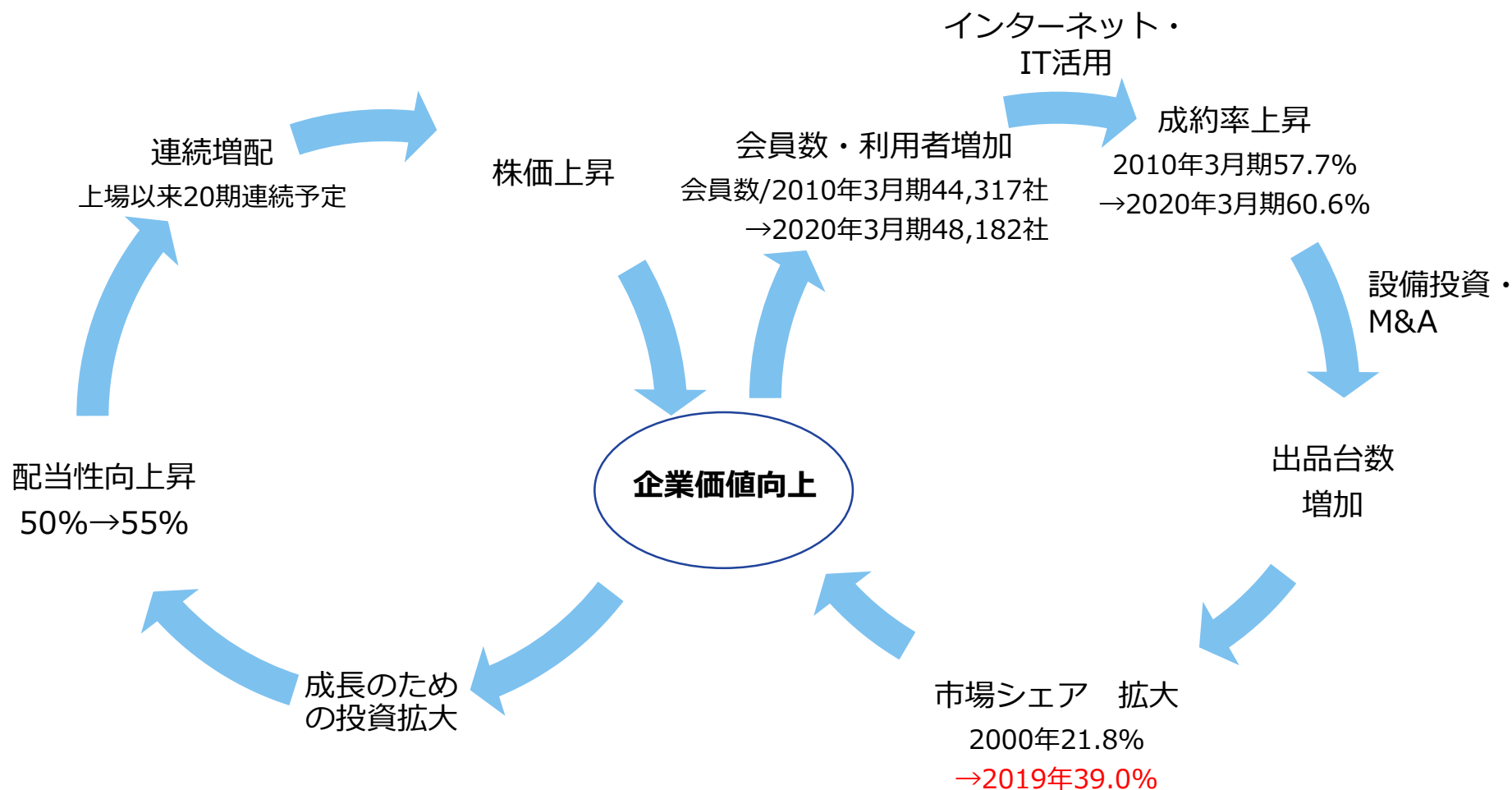


■中期的に15%以上の水準を目指す方針は不変。

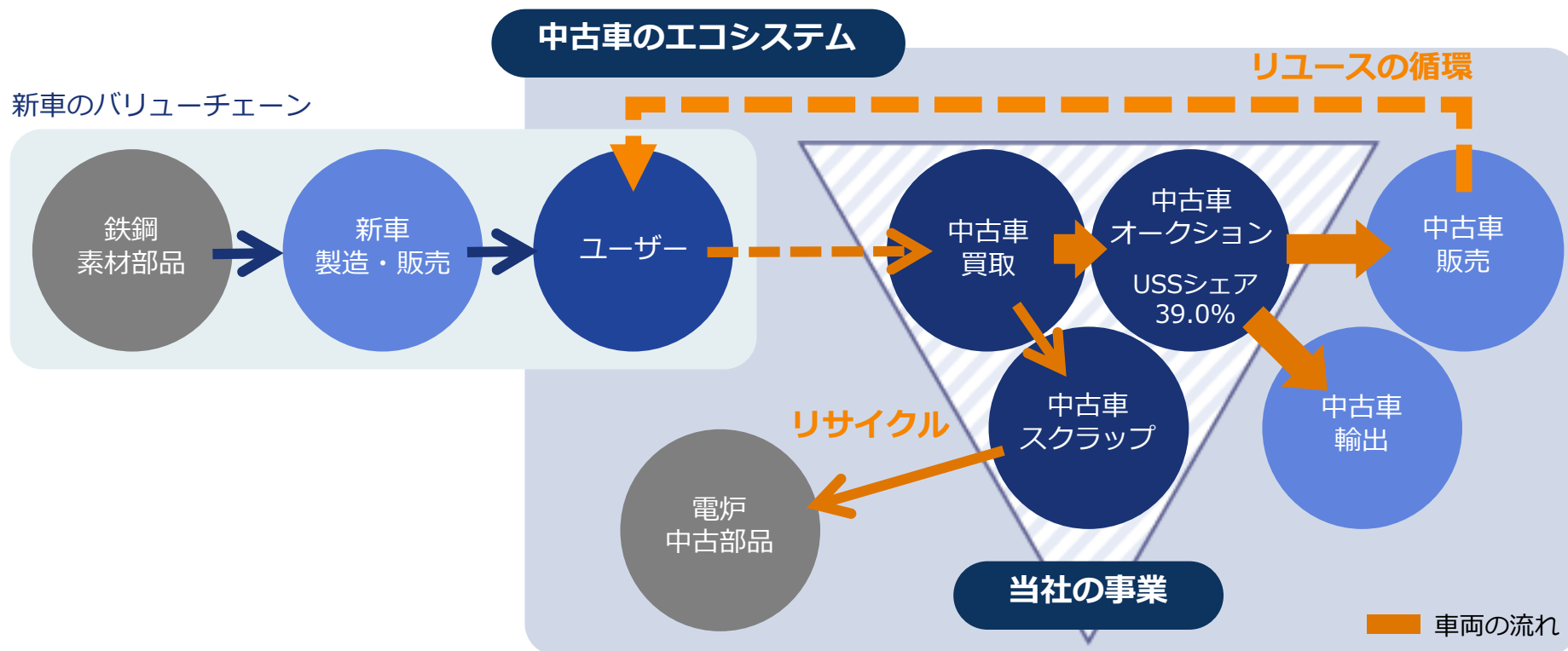
ROEの推移



■成長投資と株主還元の両輪で株主価値の向上を目指す。

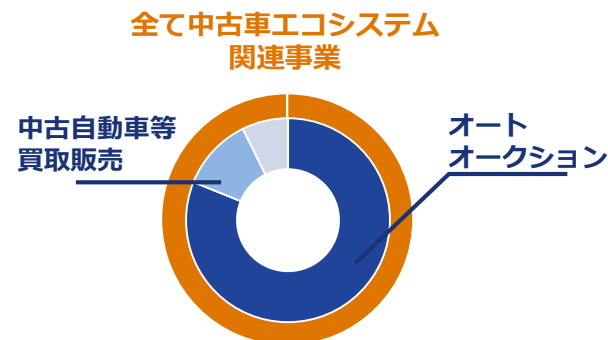


■USSは中古車エコシステムのプラットフォームとして、社会的な価値と経済的な価値を創造しています。



社会的・経済的価値の創造

- ◆ リサイクルのエコシステムへの貢献（環境負荷の軽減）
- ◆ 公正な価格形成による円滑な経済活動への貢献
- ◆ ユーザーのカーライフの選択肢の提供
- ◆ 新興国の経済発展への貢献



IRに関するお問い合わせ

株式会社ユー・エス・エス
統括本部 総務部

電話 : 052-689-1129

E-mail : irinfo@ussnet.co.jp

<注意事項>

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画の基となる前提や予測を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。
- 本資料の金額は、表示単位未満の端数を切捨てて表示しております。
- 本資料の百分率（％）は、小数点第2位を四捨五入して表示しております。

出所

（一社）日本自動車販売協会連合会、（一社）全国軽自動車協会連合会、株）ユーストカー、財務省貿易統計

ご参考

USSの長期にわたる成長の歴史

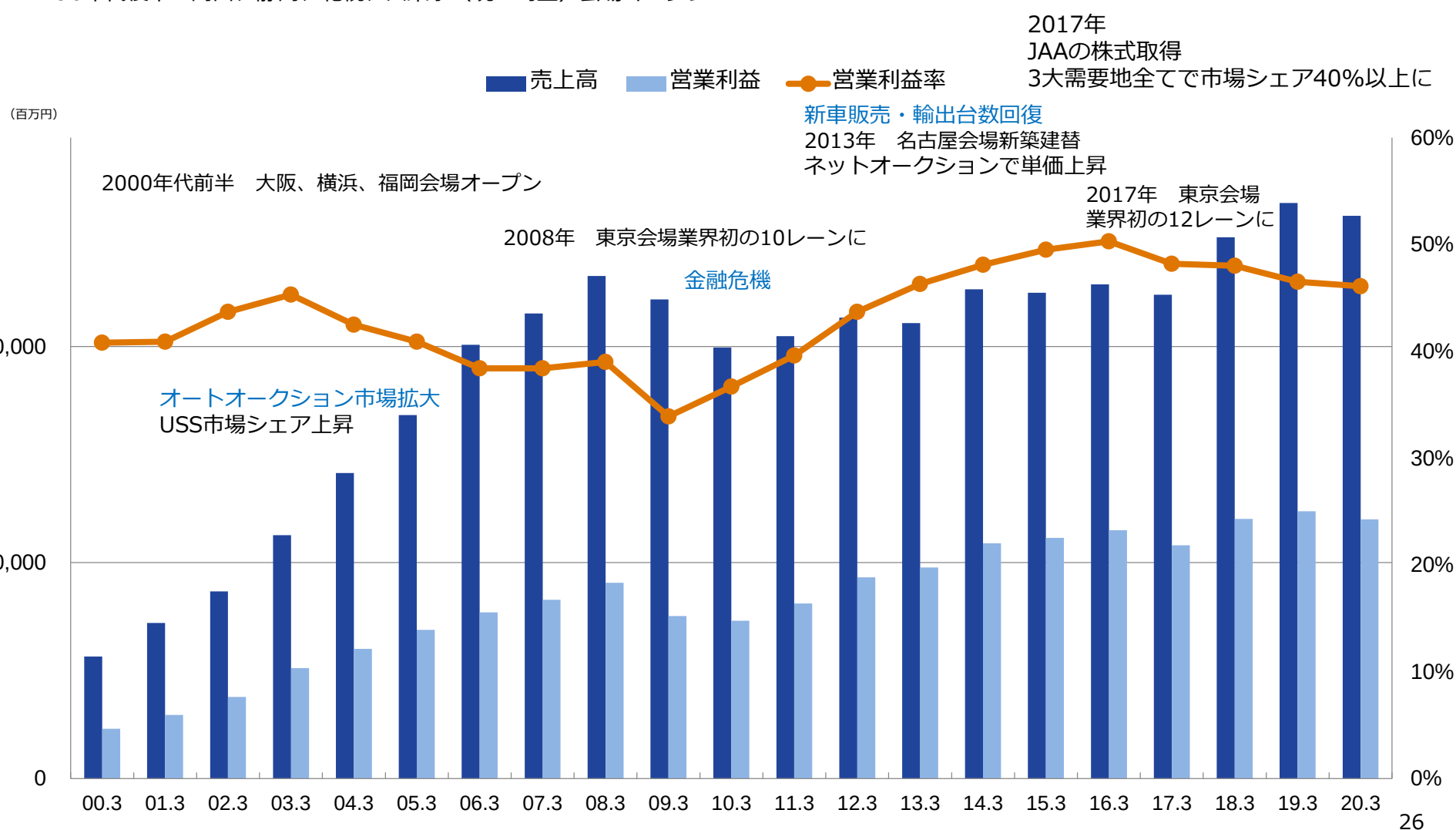
2000年以前の歴史

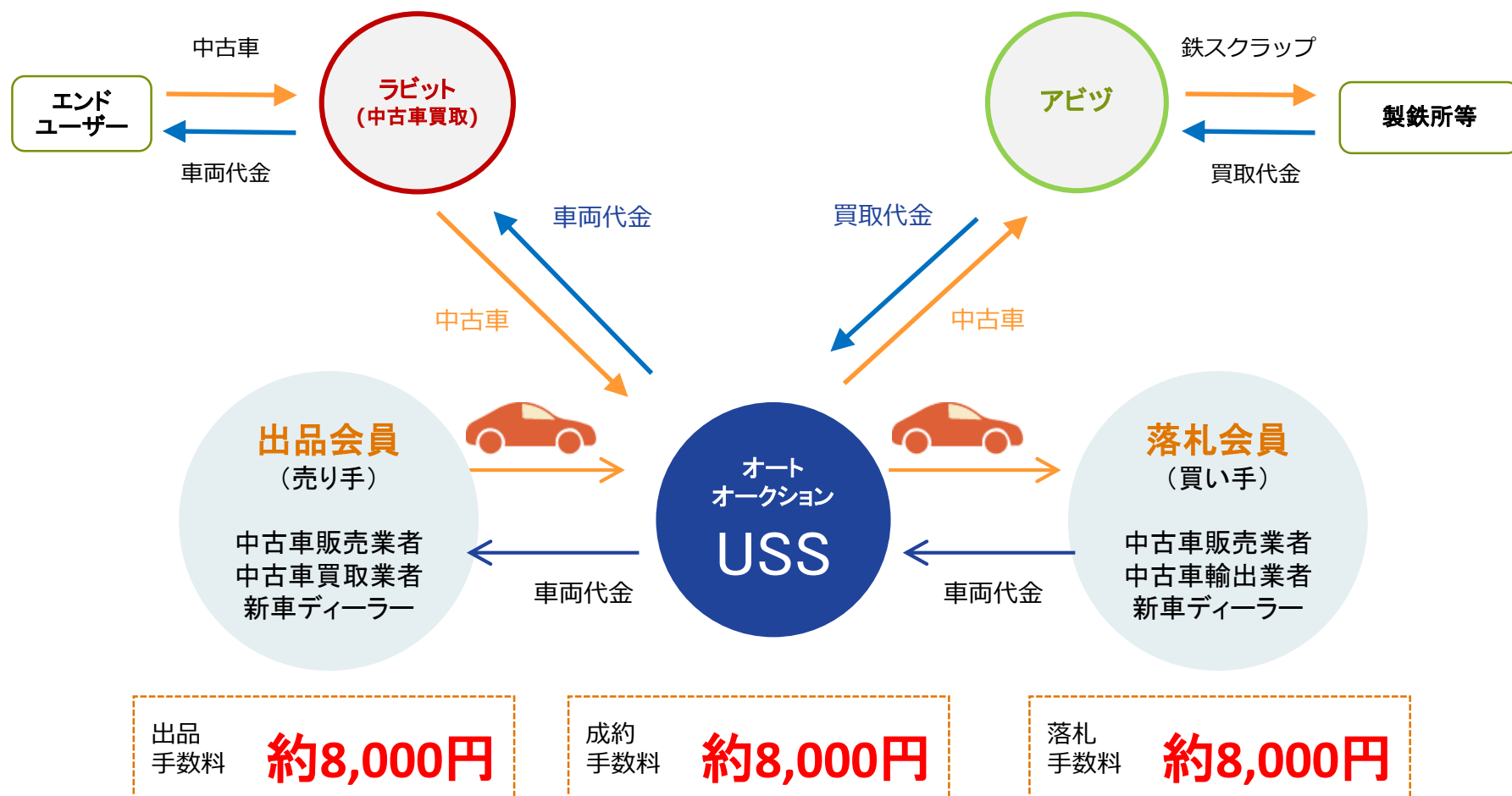
1982年 出品台数255台で第1回オートオークション開催。

88年 名古屋会場拡張 日本最大570席に

90年代前半 九州 東京会場オープン

90年代後半 岡山、静岡、札幌、西東京（現：埼玉）会場オープン



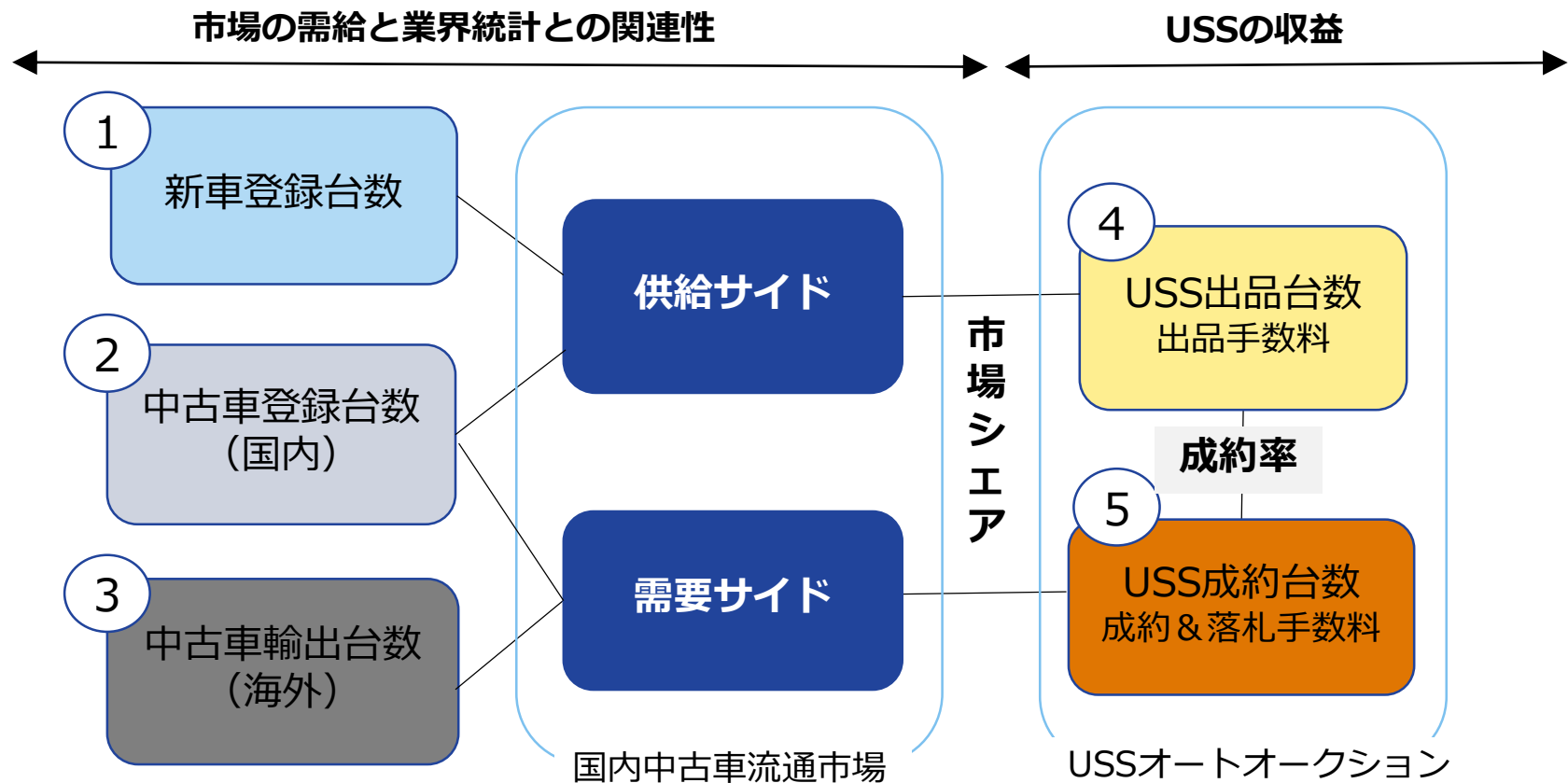


年間出品台数 **292万台**
(2020年3月期実績)

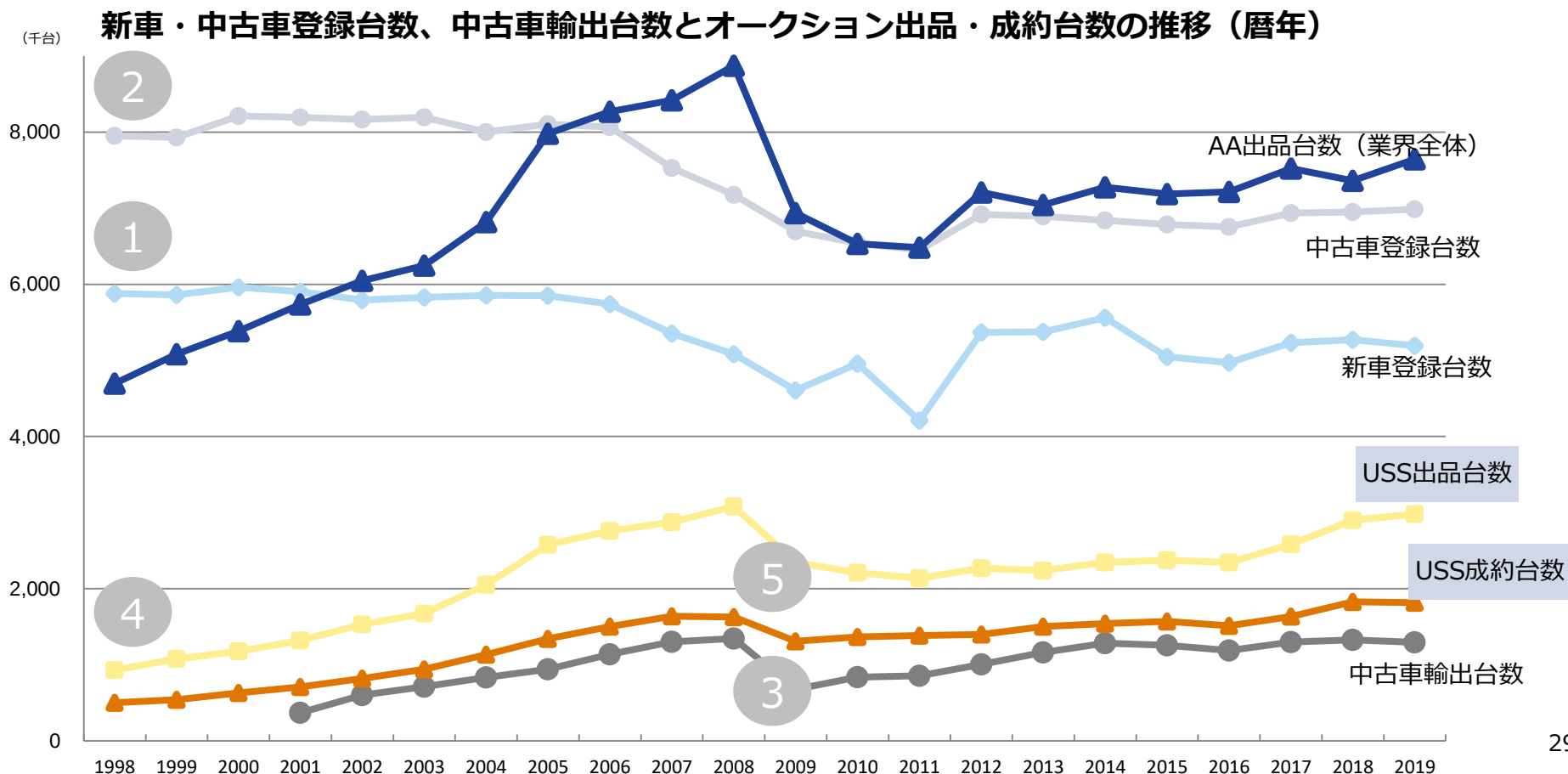
1台の成約につき
USSへの手数料 **約24,000円**

成約率 **60.6%**
(2020年3月期実績)

- オートオークション市場への中古車供給台数は、下取りを通して①新車登録台数と②中古車登録台数に連動。
- 需要サイドは国内外の中古車需要（②③）であり、近年は海外（輸出）が牽引。
- 上記市場要因に加え、オートオークション市場における市場シェア及び成約率が、USSオートオークションの収益変動要因となる。



- 2000年頃までは中古車流通におけるオークション利用率上昇により、オートオークション市場が拡大。
2000年代半ば以降は、低年式・多走行車などそれまで解体されていた車両がオートオークション会場へ流入し、オークション出品台数の増加が続いた。
- 金融危機（2008年後半）以降のオートオークション市場は新車登録台数（供給）と中古車輸出台数（需要）におおむね連動。



- 継続的な事業拡大を通じて企業価値の向上を図ることを経営の目標に、ガバナンス体制の充実を図ってきた。
- 2006年度より社外取締役制度を導入
- 2012年度より執行役員制度の強化
- 2015年度より指名・報酬委員会（任意）設置
- 2018年度より取締役会構成メンバーの多様化による経営の透明性と機能の強化を目指し、社外取締役として公認会計士でM&Aアドバイザリーの専門家である高木暢子氏を選任
- 2020年度より意思決定の向上と業務執行機能の強化を目的に取締役を10名から8名体制へ移行予定

年度	2004	2006	...	2012	...	2019	2020
取締役の数	12名	18名	→	12名	→	10名	8名
うち社外取締役		4名	→	4名	→	3名	3名

社外取締役制度導入

執行役員制度の強化

指名・報酬委員会（任意）設置

2020年6月(予定)
 取締役8名（うち独立社外取締役3名）
 監査役3名（うち独立社外監査役2名）
 執行役員2名